

〔広島県〕

広島にプロ○○○○○○○○○○チームを！

南川 圭太（電子・情報産業担当 係長）
nankawa-keita@meti.go.jp
TEL 082-224-5630



野球は**カープ**、サッカーは**サンフレッチェ**、その他バレーボール、ハンドボール、ホッケー・・・と、広島にはプロチームや国内トップレベルのチームが沢山あります。

がっ！ まだないものがありますね。何でしょう??

そうです、**プロバスケットボールのチームがまだない！** のです。

不自然でしょう！（笑）

しかし、今、広島にプロバスケットボールチームを設立しようという動きがあることを御存知でしょうか？

バスケットボールは、日本では、野球やサッカーほどメジャーではない（かもしれない！）ですが、現在、実業団チーム主体の**JBL**（日本バスケットボールリーグ）とプロチームで構成される**bjリーグ**（日本プロバスケットボールリーグ：島根のスサノマジックもbjリーグです。2009年2月号 [島根県の安部パートナーの記事](#)を御参照ください。）が併存しています。

なぜ2つのリーグがあるのかの経緯については、長くなるので割愛。昔のプロレスみたいなもんです（違う?^^;)。



◆2012年12月に広島県立総合体育館において開催された全国高等学校選抜バスケットボール大会の様子。世界選手権を始め、広島では、多くの大会開催実績もあります（筆者撮影）。

しかし、今年10月から **NBL (National Basketball League)** として1つのリーグに生まれ変わることになっています。

そこで、このタイミングで広島にもプロバスケットボールチームを設立しようということになったのです。新聞やテレビでも徐々に取り上げられるようになってきたので、御覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。



◆JBA公式サイトより

今回は、その中心人物である、「**トップリーグNBLに所属するプロチームを広島に立ち上げる会**」の**清水敬司さん**にお話を伺いました。

清水さんは、御自身も小学校から大学まで長年、バスケットボールの選手として活躍され、その後、地元でのミニバスケットボール（小学生のバスケット）チームの指導者を10年間務めてこられました（我が家の子ども達も何度か対戦したことがあります^^）。その間、チームを全国大会に導くなど、輝かしい実績も残してこられました。

しかし、今回、地元でプロバスケットボールチームを設立するという、チャレンジングな道を選択されました。

その辺の熱い思いをお聞きしてきたので、御紹介します。

Q：広島にプロバスケットボールのチームを設立しようと思われたきっかけを教えてください。

A：自分自身もバスケットボールの選手として長年やってきて、子ども達の指導もしてきました。しかし、野球やサッカーのように、身近にプロチームがないことを大変残念

に思っていました。

そこで、子ども達が一流のプレーを間近に見ることで、夢や目標を持つきっかけになればと思い、このような活動を始めました。

Q : なるほど。子ども達が夢や目標を持つきっかけとして、地域にプロチームがあることの意義はよく分かりました。ところで、チーム設立といっても、バスケットボール関係者だけでなく、広く県民・市民の皆さんの協力も必要かと思いますが。

A : おっしゃるとおりです。そうした観点で、地域の機運

を盛り上げるため、先日5月26日に、中区の中国新聞ビルで、シンポジウム「**広島にプロバスケットチームをつくろう！**」を開催しました。当日は、日本バスケットボール協会や広島県バスケットボール協会の協力もあり、予想以上の反響で、100人を超える参加者がありました。

以来、頻繁に問合せをいただくようになり、皆さんの関心の高まりを感じています。



◆シンポジウムで説明される清水さん

(写真は清水さん御本人から提供いただきました)

Q : シンポジウムは大成功だったんですね。では、今後はこういったスケジュールで動かれるのか、教えてください。

A : 6月末までに出資金のメドをつけ、リーグにチーム設立の申請を行う予定です。7月に申請が受理されたら、8月をメドにチーム設立に向けた新会社を設立する予定です。



◆シンポジウム後の取材の様子（清水さんより）

今のところ、**2014年シーズンからの参戦を目標**に頑張っています。

Q：それは楽しみです！バスケットボール競技の底辺が広がると思いますが、街が元気になると思います。

では、最後に、地域の皆さん、特にバスケットボールに普段あまりかかわりのない皆さんに対して、メッセージをお願いします。

A：私たちは、バスケットボールを、野球、サッカーに次ぐ広島の3大プロスポーツとして地域に根付かせたいと思っています。バスケットボールは、冬期が中心のスポーツであり、野球やサッカーとの関係でも、その間を埋めることができると思っています。この新しいチャレンジを通じて、これまでバスケットボールを観たことがない方々に、是非、あの迫力のプレーを間近で観ていただきたいと思っています。ファンクラブを始めとした、県民・市民の皆さんとのかかわりも今後検討していきますので、楽しみにしてください。

Q：清水さん、本日はお忙しい中、ありがとうございました。私たち中国経済産業局としても、地域のために、何が協力できるか考えたいと思います。

A：よろしくお願いします。

島根スサノオマジックの例を見て分かるように、子ども達の夢ため、また、地元を元気にする起爆剤としても、プロスポーツチームの存在は絶大です。

皆さんも、この動きに賛同いただき、チームが設立された暁には、是非ゲームに足を運んでいただければと思います。

私も、まだまだ引退できません！トライアウトで合格するべくトレーニングを続けます（笑）



◆子ども達に夢を！

～ミニバス全国大会出場時の写真～（清水さんより）

◆参考

- 公益財団法人日本バスケットボール協会：<http://www.japanbasketball.jp/>
- NBL公式サイト：<http://www.japanbasketball.jp/nbl/>